



### そこで小郡市では

小郡市では以前から戸籍謄本等を発行する場合には運転免許証や健康保険証等の提示による本人確認を行っています。さらに昨年の6月1日より、戸籍謄本等が不正に取得された場合、取得された事実を本人に通知する「本人通知制度」を実施することになりました。

この制度は、市民のみなさんの権利・利益の侵害を防止し、第三者による取得制度の悪用を抑止することを目的としています。

- 通知する場合
    - ・第三者が請求した戸籍謄本等の取得が、不正取得であることが明らかになった場合
    - ・国や県からの通知等により、不正取得が明らかになった場合等
  - 通知する対象となるもの
    - ・戸籍謄抄本、戸籍記載事項証明書、戸籍の附票の写し
    - ・住民票の写し、住民票記載事項証明書
- ※ 除籍謄本、住民票の除票等を含みます。

この件に関する 市民課市民係  
問合せは ☎ 72-2111 (内線 414)

### 知っていますか？あなたの情報も

ここ数年、戸籍や住民票を不正に取得し、身元調査する等、悪用する事案が全国で次々と明らかになっています。

知らないうちに私たちの「個人情報」が売り買いされているのです。

関わりのないはずのところからのダイレクトメールや勧誘の電話などであれば、それは「迷惑」のレベルですが、それが結婚する際等に使われるなどの事件が…

事件の背景には、部落出身者や在日韓国・朝鮮籍の人々、障がい者への偏見が今もなお存在している事実があります。「結婚相手の身内にそのような人がいてはこまる。」という理由で、調査を依頼する人がまだいるのです。

依頼を受けた調査会社等が戸籍謄本等を取得することはもちろん犯罪ですが、それを依頼する人々がいることが問題です。改めて、私たち一人一人の心のありようを考えなければなりません。

部落差別とは日本の歴史の過程で形づくられた身分差別により、一部の人たちが長い間、社会の中で差別を受け、今なお、存在している人権課題のことです。これをなくすべく取り組まれている、解放運動としての「部落差別をなくすたたかい」は、すべての市民の「プライバシーを守る」ことへとつながっています。部落差別は一日も早く無くさなければならない人権課題の一つです。



### 学習のめあて

みんなが楽しみにしている遠足が近づいてきました。さて、新しいクラスの仲間「車イス」を使っている「さきさん」。遠足への参加の仕方話題になりました。みんなで考えてみましょう。

さあて4時間目は、今度行く遠足の時何を遊ぶか話し合おうよ

遠足

〇〇公園やろ

みんなで行くのはじめてね

いっぱい遊ぼう

お弁当が楽しみ

先生、どこでさきさんはどうやって行くの？

さきさん、〇〇公園は近いし

ぼくはみんなで車イスをおして行けばいいと思います。

そうだね、みんなはどう思う？

あつ、いますよ。

車で行く先生はいないんですか。

さきさんも大変だし、それなら車がいいんじゃない？

あぶないよ

だじょうぶ

おして行こう

車がいいよ

クラスみんなの意見がわかれてしまいました。あなたは、どう思いますか。つづきは次のページで。